

端末を日常の学習ツールとして使用するための持ち帰りによる取組

八雲町立熊石小学校 学級数6 (校長 堀切川 治)

I 実践テーマの趣旨

八雲町では、GIGAスクール構想に伴い、1人1台端末(Chromebook)を整備するとともに、LTE接続ができる端末を整備し、校内だけではなく、家庭においても使用できるよう通信環境を整備した。また、LTE接続ができない地域の家庭においては、家庭と連携を図り、家庭のWi-Fiに接続することで、全ての児童が家庭において1人1台端末を使用して学習ができる環境が整った。

本校では、5月中旬から端末の持ち帰りを始め、新型コロナウイルス感染症感染拡大時の子どもたちの「学びの保障」のため、子どもたちが端末に多く触れ、日常の学習ツールとして定着することを優先に考え、次の内容に全校で取り組んだ。

II 実践の概要

1 1人1台端末を使用した課題の配信

毎日放課後に、学級担任から子どもたちへ、「Google Classroom」を使用して課題を配信している。その日の授業内容に関連する課題等を配信し、発達の段階を踏まえて子どもたちの回答の仕方を工夫した。

【課題例】

- ・低学年「きょうはしゅくだいをしましたか(しますか)」
→回答の仕方: 「はい」「いいえ」のどちらかを選択
- ・中学年「今日はどんな家庭学習をしましたか(しますか)」
→回答の仕方: ローマ字で文字を入力して回答
- ・高学年「スクランブルエッグを作り写真を提出してください」
→回答の仕方: 自宅で調理したものを写真撮影して提出

④ 今日の宿題と質問です。

15:13

100点

今日の宿題は
①Eライブラリ

②新渡戸稲造について調べ学習1ページ
※「新渡戸稲造の生き方」「新渡戸稲造 武士道」
などで調べると出てきます。

③外国語

・「I like~(〜が好き)の文を5つ作る
※Nobita likes~や Rino likes~など自分以外でも作ってみよう!

例: I like baseball. I like hamburger.
Nobita likes doraemon. など

・「I eat~(〜を食べる)の文を5つ作る
例: Doraemon eats dorayaki.
I eat strawberry. など

です。2日ありますので、しっかり頑張ってみよう

【配信した課題の画面】

2 オンライン授業の取組

子どもが発熱等の風邪症状で出席できない場合等において、子どもが「Google Classroom」からWeb会議システムに接続し、家庭から授業に参加できるようにする取組を日常的に実施した。学校では、学級担任が出席停止となった子どもの机に、Web会議システムに接続した学級担任用の端末を置き、黒板が映るように角度や位置を調整するとともに、机間巡視中に個人思考の様子を確認したり、ペアやグループでの集団思考の場面では、学級にいる子どもに、端末の向きを動かして対話するよう指導したりすることで、家庭から参加している子どもが、学級にいる子どもと同じように授業に参加できるように工夫した。



【オンライン授業の様子】

3 健康状態の報告

子どもたちが、毎朝、登校前に健康状態を、「Google フォーム」で報告する取組を実施した。報告する項目は、「体温」「喉の痛み」「咳」「だるさ」「息苦しさ」「その他」で、報告されたデータは、「Google スプレッドシート」で一覧表にして、毎日の結果をデータベース化して活用した。

III 実践の成果(○)と課題(●)

- 学級担任が配信する課題の提出や、健康状態の報告、オンライン授業での活用により、子どもたちが1人1台端末を鉛筆やノートなどの文房具と同じように日常的に使用できるようになった。
- 子どもの発達の段階に応じて、日常的に端末を活用させたことにより、児童のICT機器の操作や情報の活用スキル等の情報活用能力が育成された。
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、学習内容を深めるための1人1台端末の効果的な活用について、さらに校内研修を進める必要がある。